

昭和二十五年十一月二十一日提出  
質問 第一四号

政府の親米政策に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年十一月二十一日

提出者 横田 甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

## 政府の親米政策に関する質問主意書

日本国民は、どうして親米的のみでなくてはならないのか。米国にも悪いことは随分あるではないか。これは共産党員の私のみがいうのではなく、アメリカのフィリピン調査団が発表したベル報告書によると、フィリピン政府の**とく、職行為をばくろ**しているが、それに対して、キリノ大統領は「この破産と腐敗と墮落はアメリカのお手本に習っているのである。うんぬん。」と**のべて**いると、ロンドン三十日発テレプレスは記している。従つて親米的と云うのが日本を發展させるとは限らない。余りにも親米的な日本の吉田自由党政府に対して、親米の内容と実践、**そうしてその行為のみが日本に貢献し、日本人としての最良の生がい、を**終る理由を明示してもらいたい。

右質問する。